

多文化共生・異文化間教育

研究領域

明治大学 国際日本学研究科

何を？

多様な人々が共に生きる社会のための
政策、教育、メディア、まちづくりについて

なぜ？

- ・グローバル化の進展の中で、外国からの労働者や留学生など、多様な文化背景を有する人々が増加
- ・地域社会や学校、大学あるいは企業における多様性（ジェンダー、障がい等）の重視

例え
ば？

**研究
の
問
い**

- ・外国人労働者や外国人留学生に関わる課題
- ・国や自治体の外国人政策のあり方
- ・多文化共生をめざす教育の実践とは
- ・生活背景の違いなどの多様性（障害や世代、ジェンダー）
- ・地域における多様な主体の協働のあり方
- ・多様性から知を生み出す学習環境デザイン/テクノロジー活用
- ・異文化体験が人間の成長・発達にどのように影響するか

多様性をめぐる様々な課題の中から、学生は特定のテーマを設定して研究を進めます。

コンセプト

講義科目

指導可能領域

アドバイス

2024年度 講義一覧

多文化共生特論
(山脇啓造)

アクション
リサーチ
(岸磨貴子)

応用言語学
(岩田祐子)

発達心理学
(茂呂雄二)

多文化共生と
地域社会
(小山紳一郎)

留学生政策
(花田真吾)

ダイバーシティ
と企業
(井上洋)

コンセプト

講義科目

指導可能領域

アドバイス

2024年度 指導教員



岸磨貴子



山脇啓造
(副担当)



岩田祐子
(副担当)



岸磨貴子

准教授。情報学（博士）。ICTを活用して、人々の多様性（才能）が発揮できる学習環境（場）のデザインに関する研究をしている。（「場のデザイン×ICTで、誰もが輝ける世界に」を検索！）文部科学省のICT活用アドバイザー、異文化間教育学会/日本教育メディア学会/日本教育工学協議会の理事を兼任。

教育工学・学習環境デザイン

指導可能領域は次のとおりです。

- ① 異文化間教育、共生教育
- ② 教育工学、メディア教育
- ③ ワークショップ/学習環境デザイン
- ④ アートベース・リサーチ
- ⑤ 国際教育協力





山脇啓造

教授（多文化共生論）。国や自治体の多文化共生施策について研究し、多文化共生社会に向けた様々な政策提言を発表。国や自治体の関連委員を歴任。学部のゼミでは、行政や企業等と連携した多文化共生のまちづくりを実践。

多文化共生・外国人政策

指導可能領域は次のとおりです。

- ① 日本の外国人政策
- ② 地方自治体の多文化共生施策
- ③ 多文化共生の地域づくりと学校づくり



言語教育・多文化教育

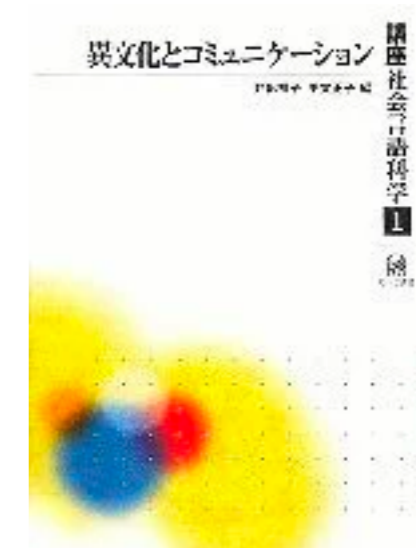
指導可能領域は次のとおりです。

- ① 多文化教育
- ② 多文化共生を目指す言語教育
- ③ 異文化理解と異文化コミュニケーション
- ④ 言語とジェンダー



岩田祐子

特任教授。博士（教育学）。専門は、応用言語学、社会言語学、異文化コミュニケーション。真のダイバーシティを目指すという観点から多文化共生を実現するための言語教育のあり方や、多文化教育を研究をしている。異文化コミュニケーション学会元会長。学部では「ダイバーシティと社会」を担当。





受験生への アドバイスと注意点

- ・しっかりとした問題意識を持ち、2年間で論文に仕上げることができるように、その問題意識をできるだけ具体的な研究計画にして、応募してください。
- ・指導希望教員の書いた著書や論文などを、よく読んでください。

<注意点>

- ・岸准教授の博士前期課程の指導を希望する場合、出願前に事務室を通じて連絡してください。